

もいのにぎわい通信

2023年1月28日 定例活動報告

日時：2023年1月28日（土）10：00～13：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 4～8℃ 湿度 39% 風向 北西 風速 3.3m/s

参加者：46人：子ども6人、大人40人（内土地改良区4人）

■活動

10:00 集合

10:10 作業開始

11:30 休憩

13:00 後片づけ・解散

■活動報告

前日の夜から雨が雪に変わり、一面うっすら雪景色となった森での活動となりました。朝方の道路の凍結が心配されたため始まりを一時間遅らせた10時スタートと・・・前日夕方の急な変更連絡でしたが参加人数は変わらずほぼ時間通り始まりしました。

手違いがあり連絡が届かずに早く到着していた一組の家族は予期していなかった雪景色にびっくりし姉妹のMちゃんAちゃんはパパが作った雪だるまを飾って楽しんでいました。MちゃんAちゃんは参加者が休憩するときにつかうベンチや荷物置き用の板の運び出しを楽しそうに手伝ってくれてとても助かりました。

17名という大人数で参加して下さった株式会社パソナさんがそろったところで分担して予定していた作業へとはいりました。(1)杉木の枝打ち(2)枝打ちしたものを焚火のところへ運ぶ(3)前回までの活動で集めていた枝や間伐した木の山を燃やす(4)刈払い機で下草を刈る

★子どもたち…基地に白いビニールシートで屋根をつける、水が溜まっていた水槽にできた厚い氷の板をとって割って乗って削る、リヤカーにのって大人におしてもらう…

前回までの活動で山積みされていた木の枝の大きな山3つは参加人数が多く、うまく連携がとれていたためあっという間になくなっていきました。二日前から天候の心配があり木の枝の山にブルーシートをかけていたのが功を奏してよく燃えました。しばらくして雪がかぶった部分になると火が弱まって心配しましたが、土地改良区の方が大きな草焼きバーナーを持ってきてくれて湿っていた枝にもしっかりと火が移りそのあとは安定した火となりました。

11時半の休憩では株式会社パソナさんからのお菓子の差し入れがありお茶とともに皆でおいしくいただきました。休憩終わりにブルーシートの上で用意していたさつまいもと安納芋を新聞でくるみ濡らしてさらにアルミホイルで包む作業を子どもと女性陣で行いました。熾火となった焚火の灰の上に並べて置いて全体が隠れるようにスコップで灰をかけました。焼き芋ができ上るまで40～50分かかるため全員でまた枝打ちと運ぶ作業にとりかかりました。

焼き芋が出来上がった13時前にはまた剪定した枝の大きな山ができていました。

作業を終えた人から順番にほかほか柔らかく焼けた焼き芋を食べ始めると、どこからか子どもた

ちの歌声が…。様子をうかがうとインディアンテントのティピのような基地のテントの中に女の子3人が入っていて焼き芋を食べながら楽しそうに歌っていました。“やきいもやきいもおなかぐ〜♪” 久しぶりに聞いた歌でしたが、焼き芋を食べるときになんてぴったりな歌詞なんだろうと感心してしまいました。

作業の後の焼き芋は格別でした。焚火は焼き芋を取り出してから約2時間後に消火を行いました。帰り際に子どもたちが遊んでいた水たまりからとった氷の板を見ると天気の良い一日でしたが気温が低いせいか解けずに残っていました。寒さ厳しい中ではありましたが、多くの参加者のおかげですっきりきれいな杉林になり山積みされていた剪定された枝もなくなりとても過ごしやすい森になりました。

(記録：和田みさ子)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、2月25日(土)(雨天の場合2月26日(日)) 除草作業、苗木の枝の剪定、間伐材の片づけ(焼却)、井戸の掘削作業を行う予定です。尚、コロナ禍の為、活動時間は午前9時～12時までとします。



集合写真



一面の雪景色



ベンチの運び出しのお手伝い



雪だるまを作る



雪の中での秘密基地作り





氷の板で氷のオブジェを作る



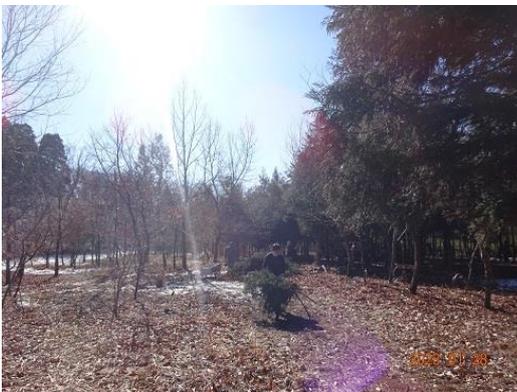
リアカーで移動



間伐材の焼却作業



火炎放射器を使用しての間伐材焼却作業



スギ枝の間伐作業と焼却場への運搬作業





刈払機による除草作業



休憩時間





休憩時間



さつまいもと安納芋を新聞紙で濡らしアルミホイルで包む作業



アルミホイルでくるんださつまいもをならべているところ



焼き芋を各自でほおぼる



おいしそう!



テントの中で女の子三人
焼き芋食べながら焼き芋の歌